

講習会 目からうろこ、話題の騒音対策技術

第1技術委員会 丸田芳幸
中央大学

第1技術委員会では、講習会「目からうろこ、話題の騒音対策技術」を開催しました。この講習会は、中級技術者向けに企画したもので、新宿区信濃町の日本機械学会の会議室にて2016年10月20日に実施し、36名の方(20歳代・30歳代で6割)に受講頂きました。

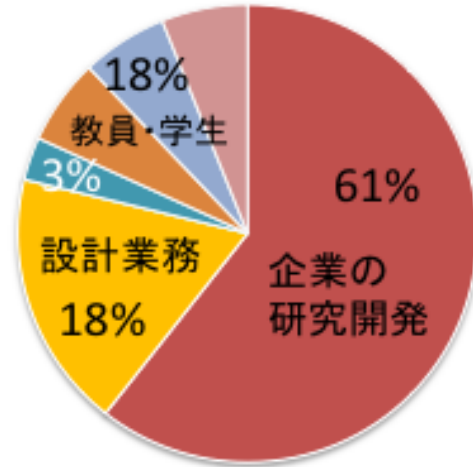
本講習会の企画趣旨は、機械の騒音低減技術分野で活躍する実務者向けの講習会として、音や振動の波動現象を利用した、伝搬系で騒音を低減する先進的な手法を理解していただきます。新しいコンセプトの騒音対策技術を紹介して、小型化・軽量化した製品の騒音対策に役立てて頂くことを期待します。今回の参加者の仕事内容を集計しますと、「企業の研究開発・設計業務」に携わっていらっしゃる方が全体の8割を占め、新しい低騒音化技術を製品に反映しようとする技術者の関心の高さが伺えました(図A参照)。

中級技術者向け講習会のテーマは毎年取替えており、今回は騒音伝搬系での対策新技術のアラカルトとしました。講義題目は下記の内容で実施致しました。

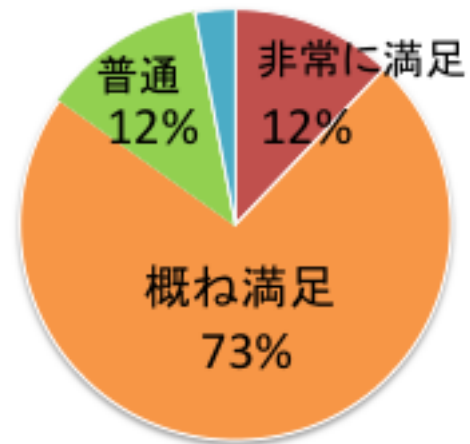
- I. 「モード視点と波動視点による低振動低騒音化」
- II. 「微細多孔板(MPP)を用いた騒音対策」
- III. 「薄膜を活用した音響透過パネル、軽量遮音パネルによる騒音対策」
- IV. 「エッジ効果抑制に基づいた先端改良型遮音」
- V. 「騒音低減への音響カメラの利用/実機デモ付き」

各講師が難解な騒音低減メカニズムを、解りやすく説明し、質問にも十分な回答をしていたので、90%の受講者が講義内容を理解し、85%の参加者から満足していただきました(図B参照)。今後、実務に反映していただけるであろうと感じました。

第1技術委員会では、年2回の講習会を開催しております。2017年初夏には、定例になっている初級講習会「静粛設計のための防音・防振技術」を開催しますので、奮ってご参加ください。



図A 講習会参加者の仕事内容 (アンケート結果)



図B 講習会参加者の満足度 (アンケート結果)